

始まる前からガチすぎる！

個性派すぎる！クラス旗

A組 #史上最高のクオリティ

虎という一見ありきたりなモチーフでしたが、絵心のある生徒が描いてくれたおかげで、とてもすばらしい仕上がりになりました。大きく描かれた虎は、今にも動き出しそうな迫力があります。

中学3年A組 吉崎 慶

B組



E組 #茶×黄が映える、E組の象デザイン

象をモチーフにしたデザインで、茶色と黄色をうまく使い分けています。その迫力ある仕上がりが見どころです。

中学3年E組 張 嘉成

D組 #気合の入った動物たち

クラス旗には、ゴリラをはじめとした強そうな動物がいろいろと描かれています。見ているだけでやる気が出てきます。

中学3年D組 小川 璃久

F組 #描かれる神獣

偉大なる翼を背に生やし、大空を駆ける獣・グリフォン。優勝という栄光をつかんだF組にふさわしい旗だと思います。ピンクと青という、一見すると合わない色の組み合わせでありながら、逆にそれが旗の存在感を際立たせており、とても強いインパクトがあります。

中学3年F組 山地 柚輝

G組



LINE公式アカウントは
こちらから

学校の様子や最新ニュース、
入試関連情報をお届けしています！



学校ホームページは
こちらから

「公式ブログ」にて入試説明会や
最新のイベント情報を発信中！



※各種イベントは、状況により変更となることがあります。最新情報は学校ホームページ (<https://www.tcu-jsh.ed.jp>) をご確認ください。

東京都市大学
付属中学校・高等学校

小田急線 成城学園前駅より徒歩10分
東急田園都市線 二子玉川駅よりバス20分
東京都世田谷区成城1丁目13番1号
TEL 03-3415-0104 FAX 03-3749-0265
お問い合わせはこちら info@tcu-jsh.ed.jp

トシコー生のリアルを発信する
情報マガジン

T-Scope

東京都市大学 付属中学校・高等学校
TOKYO CITY UNIVERSITY JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL

編集:生徒会新聞委員会
2026.01.13発行

vol.33



勝敗よりも熱中!
全力の一瞬が、最高の思い出になる。

トシコ→体育祭 中学校&高校 名場面コレクション

中学体育祭 11/8(土)

協力と苦勞の向こうに見た、僕たちの「勝利」

僕たちのクラスは、インフルエンザで出られない人が多く、ギリギリの人数で体育祭を迎えました。足が一番速い人や、代走を務める予定だった人が休んでしまったため、事前に決めていなかった人が代わりに走るなど、みんなで力を合わせて頑張りました。結果は最下位でしたが、「みんなでやりきった」という別の勝利をつかむことができました。

中学2年E組 土屋 怜司

チームの絆が生んだ大記録

僕のクラスでは、ロープジャンプの練習で思うように結果が出ていませんでした。しかし本番では息を合わせ、これまでの練習では想像もできなかった106回という大記録を出しました。その瞬間、僕たちの絆の深さを改めて実感しました。

中学3年A組 三輪 隼

OMG



BANG

初体育祭で感じた団結力

初めての体育祭では、ロープジャンプ、全員リレー、台風の日、華のステージに参加しました。中でも一番楽しかったのはリレーで、達成感とバトンを通してクラスの団結を感じることができたからです。また、順位の変動が激しく、最後まで目が離せなかったことも印象に残りました。体育祭全体を通してとても楽しかったので、来年も頑張りたいと思います。

中学1年C組 折橋 翔

YEAH



みんなで協力した体育祭

今年の体育祭は、これまで以上に協力して楽しむことができました。棒引きでは、チームの仲間と集まって「誰がどの棒に行くか」といった作戦を立てることができ、より一体感を感じられました。来年からは高校生になり、競技も球技大会になりますが、またチームワークを発揮できるように頑張りたいです。

中学3年G組 小林 晴

高校体育祭 5/2(金)

WOW



白熱—体育祭盛り上げの裏側には何が

クラスや学年全体から「絶対に勝とう」という強い団結力が伝わってきました。また、高校1年生にとっては初めて、高校3年生にとっては最後の行事でもあり、それぞれの思いが一つの大会に集まりました。応援やプレーにも熱が入り、自分のクラスのドッジボールの試合は思わず見入ってしまいました。勝利を目指して団結した一つ一つのクラスが、体育祭を大いに盛り上げてくれたと思います。

高校2年B組 古賀 羽

OH!



全力でぶつかった体育祭

高校体育祭では、クラス対抗リレーがひときわ盛り上がりしました。スタートからゴールまで仲間に声援を送り続ける姿が印象的で、「勝ちたい!」という気持ちが会場全体にあふれていました。中学時代と比べても、競技の本気度も応援の熱量も段違いです。勝ち負けだけでなく、クラスの団結力や一体感を強く感じられる一日となりました。

高校1年F組 倉本 隼



雨—インタビューとして 見届けた勝者の汗と涙

体育祭当日はあいにくの雨。そのため、予定していたグラウンドでの閉会式は中止となり、放送での実施に変更されました。本来ならインタビューとして全校生徒の前で優勝チームの健闘を讃え、体育祭最後の盛り上がりをつくるはずでした。しかし、この雨は勝者のうれし涙、敗者の悔し涙、そして両者の流した汗であるように感じました。そして私も本来の形ではできなかったのは悔しい気持ちもありますが、勝者の汗とうれし涙を見届けることができよかったです。

高校2年C組 内海 徹人

YEAH



YES

